

主な出来事

【内政】

- ピン氏によるボンゴ大統領との対話拒否表明
- ＩＣＣ一行によるガボン訪問

【外政】

- イソゼ・ンゴンデ首相によるロシア訪問
- ボンゴ大統領によるニューヨーク訪問
- 第１６回環境に係るアフリカ閣僚会合の開催
- ムベレ・ブベヤ外相による訪印
- ボンゴ大統領による難民連帯サミットへの出席

【経済】

- ムーディーズによる信用格付け：ガボンＢ３
- 世銀協力：６億８，１５０万ドル
- ＩＭＦによる対ガボン融資：６億４，２００万ドル

【内政】

１ ＵＮＰＲ代表による提案

新共和国のための連合（ＵＮＰＲ）代表は、客年の大統領選挙後の政治的危機の解決策として、国連による調停，逮捕・抑留者の解放，大統領選挙後の暴動の被害者家族への補償等１２箇条の提案を行った。（２日付ＵＮ）

２ ピン氏によるボンゴ大統領との対話拒否表明

２日，オイエ・ンバ国民連合（ＵＮ）副代表及びンズバ・ンダバ氏から呼びかけのあったボンゴ大統領とピン氏の対話に関して，ピン氏は，改めて対話拒否の意向を表明した。（１４日付ＵＮ）

３ ガボン外務省員削減の決定

９日，ムベレ・ブベヤ外相は，２０１５年からの財政・経済危機を受けて，同省の人員を３０％削減することを発表した。現在，ガボンは世界各国に３２の大使館と多くの総領事館を有し，６００名以上の在外職員を抱えている。（１５日付ＧＲ）

４ ＩＣＣ一行によるガボン訪問

２０日，客年の大統領選挙後の暴力行為に係る予備的調査を行うため，４名の国際刑事裁判所（ＩＣＣ）専門家が当地に到着した。同一行は，通信大臣，法務大臣，内務大臣，国防大臣とそれぞれ会談したほか，ピン氏を代表とする「新共和国のための連盟（ＣＰＮＲ）」とも面談した。さらに，市民社会，当地外交団，リーブルビル控訴裁判所司法長官，同国検察官とも会談した。（２１日付，２２日付，２３日付ＵＮ）

【外政】

1 イソゼ・ンゴンデ首相によるロシア訪問

1日、イソゼ・ンゴンデ首相は、サンクトペテルブルクの国際経済フォーラムの開会式に出席した。同首相は、ロシアの投資家に対してガボンの経済開発の可能性について説明したほか、一次産品の価格下落によるガボン経済の課題について言及し、経済、政治、貿易、文化面でのロシアとの関係強化を呼びかけた。（2日付UN）

2 ボンゴ大統領によるニューヨーク訪問

5－9日、ボンゴ大統領は、ニューヨークを訪問し、海洋に係る国連ハイレベル会合に出席した。同会合にて、大統領は、20の海洋保護区（うち、海洋公園9、海洋指定区域11）の新設を表明したほか、同会合のマージンにて、グテーレス国連事務総長と会談した。（2日付、6日付UN）

3 バンギ大司教によるガボン訪問

14日、ンザパレンガ・バンギ大司教はガボンを訪問し、ボンゴ大統領と中ア情勢について意見交換したほか、同大司教から大統領に対して、MINUSCAに対するガボンの貢献について謝意が表明された。（15日付UN）

4 AUC農業経済・農業委員のガボン訪問

15日、ボンゴ大統領は、ガボンを訪問中のサッコAUC農業経済・農業委員と会談し、アフリカ大陸での経済成長過程における農業の重要性について協議した。（16日付大統領府HP）

5 第16回環境に係るアフリカ閣僚会合の開催

ボンゴ大統領は、12－15日にリーブルビルにおいて開催された第16回環境に係るアフリカ閣僚会合に出席していたアフリカ各国の閣僚と会談した。また、国連環境計画（PNUE）代表と会談し、エコシステムについて意見交換を行った。さらに、気候変動交渉に係るアフリカ・グループ議長と会談し、気候変動に関するアフリカ首脳委員会（CAHOSCC）議長国としてボンゴ大統領の政策指針について説明した。（17日付UN）

6 ムベレ・ブベヤ外相による訪印

訪印中のムベレ・ブベヤ外相は、スシュマ・スワラージ外相と、二国間外交協議の実施に係るMOUに署名した。また、ムベレ・ブベヤ外相は、財務・交通・鉄道大臣と会談したほか、ニューデリー及びコルカタの印企業家とのワーキング・セッションに出席した。（21日付UN）

7 OIFによる大統領選挙に係る報告書の発表

客年の大統領選挙に関する仏語圏国際機関（OIF）による報告書が提出された。同報告書には、異議申立てにおける司法機関の信頼性の欠如、選挙時の偏った報道等について指摘されている。（21日付RFI）

8 ボンゴ大統領による難民連帯サミットへの出席

ボンゴ大統領は、22－23日においてウガンダのカンパラにおいて開催された難民連帯サミットに出席し、難民の保護・支援制度の実施を賞賛した。（24日付UN）

【経済】

1 コミログによる2016年総決算の発表

コミログ社の2016年総決算を発表し、売上高は前年の3,080億CFAフランに比べ17%増加の3,600億CFAフランとなった。(6日付UN)

2 2017年第1四半期の新車販売状況

2017年第1四半期の新車販売状況は、油価下落に伴う政府予算の削減を理由に、前年に比べ38%減となった。2016年の新車販売台数は、2013年の5,094台から50%減の2,600台を記録した。(7日付GR)

3 ムーディーズによる信用格付け：ガボンB3

ムーディーズは石油価格の下落による政府財政の悪化、経済成長の鈍化を理由に、ガボンの格付けをB3に格下げした。(8日付GR)

4 世銀協力：6億8,150万ドル

13日、当地世銀代表は、今後2年間の総額6億8,150万ドルの対ガボン支援を発表した。同支援は、投資促進、情報通信、インフラ、キャパシティ強化、政府予算等の分野に実施される。(15日付GR)

5 IMFによる対ガボン融資：6億4,200万ドル

19日、IMF理事会は「信用拡大メカニズム」と題する2017年から2020年にかけての総額6億4,200万ドルの対ガボン融資を決定した。他ドナーとして、アフリカ開発銀行、フランス開発庁(AFD)が9,700億CFAフランを融資する。同融資は、8,000億CFAフラン(約12.2億ユーロ)に達するガボン政府の未払い解消に貢献し、同国政府は3年以内に対外債務1,650億CFAフラン、対内債務6,380億CFAフランの清算を約束した。ガボンの債務残高は、対GDP比で64%であり、うち37%が対外債務、27%が対内債務にあたる。(27日付UN)

出典:PR(大統領府公式HP),UN(ユニオン紙),GM(ガボン・マタン紙),GN(ガボン・ニュース電子版ニュース),AFP,GA(Gabonactu.com),GR(ガボン・レビュー電子版ニュース),LG(ル・ガボン電子版ニュース),GE(ガボン・エコ電子版ニュース),AFP(フランス通信社),GL(ガボンリール電子版ニュース),AFI(アフリカ・エネルギー・インテリジェンス),LP(LOUP 紙),EN(エコー・ノール紙)